



Neogen® Molecular Detection Assay 2, *Listeria monocytogenes*

キット製品

キットID

製品名	: Neogen® Molecular Detection Assay 2, <i>Listeria monocytogenes</i>
製品コード	: MDA2LMO96
Part Number(s)	: 700002149 MDA2LMO96

キット安全情報シートの供給者の詳細

Supplier

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

Importer

Neogen Japan K.K.
220-0012
Kanagawa Nishi-ku Yokohama City 3-3-3, Minatomirai 12F Yokohama
Connect Square
T 045-211-4615

一般事項

使用上の制限	: あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。
概要	: このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート（SDS）が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。

Neogen® Molecular Detection Assay 2, *Listeria monocytogenes*

キット 安全情報シート (SIS)

キット内容

名前	GHS分類
Reagent Control Pack	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類できない 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 分類できない 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類できない 有機過氧化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期 (急性) 分類できない 水生環境有害性 長期 (慢性) 分類できない オゾン層への有害性 分類できない

Neogen® Molecular Detection Assay 2, *Listeria monocytogenes*

キット 安全情報シート (SIS)

名前	GHS分類
Lysis Buffer	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高压ガス 分類対象外 引火性液体 区分外 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類できない 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類できない 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期（急性）区分外 水生環境有害性 長期（慢性）区分外 オゾン層への有害性 分類できない

Neogen® Molecular Detection Assay 2, *Listeria monocytogenes*

キット 安全情報シート (SIS)

名前	GHS分類
L.mono Reagent Pack	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高压ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類できない 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 分類できない 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類できない 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期（急性）区分3, H402 水生環境有害性 長期（慢性）区分3, H412 オゾン層への有害性 分類できない

輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

Neogen® Molecular Detection Assay 2, *Listeria monocytogenes*

キット 安全情報シート (SIS)

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	
	規制されていない
輸送危険物分類	
	規制されていない
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報

: 補足情報なし



安全データシート

Reagent Control Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2025/08/26 改訂日: 2026/05/18 バージョン: 5.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Reagent Control Pack
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : 400001343
Part Number(s) : 400001343

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤
使用上の制限 : あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない

安全データシート

Reagent Control Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

本混合物には、適用可能な規制に従って言及される物質は含まれていない

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること (第8項を参照)。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

安全データシート

Reagent Control Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。
浄化方法	: 製品は機械的に回収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件	: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	: データなし

安全データシート

Reagent Control Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

技術的対策
容器包装材料

: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具

: 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具

: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具

: 保護用手袋

眼の保護具

: 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

: 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視

: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

: 固体

外観

: 顆粒

色

: 白色

臭い

: 無臭

pH

: 7

融点

: データなし

凝固点

: データなし

沸点

: データなし

引火点

: データなし

自然発火点

: データなし

分解温度

: データなし

可燃性

: データなし

蒸気圧

: データなし

相対密度

: 1

密度

: データなし

相対ガス密度

: データなし

溶解度

: 水に可溶。

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)

: データなし

爆発限界 (Vol-%)

: データなし

動粘性率

: データなし

粒子特性

: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。

化学的安定性

: 通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性

: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

避けるべき条件

: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。

混触危険物質

: データなし

危険有害な分解生成物

: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

安全データシート

Reagent Control Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

11. 有害性情報

- 急性毒性 (経口) : 分類できない
急性毒性 (経皮) : 分類できない
急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
分類できない (粉じん、ミスト)

Reagent Control Pack	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の99.46%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.46%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない

Reagent Control Pack	
pH	7

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない

Reagent Control Pack	
pH	7

- 呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

- 生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない

残留性・分解性

Reagent Control Pack	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

Reagent Control Pack	
生体蓄積性	データなし

安全データシート

Reagent Control Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

土壌中の移動性

Reagent Control Pack

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分

: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法

: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

残余廃棄物

: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。
廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。

地域の廃棄規則

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報

: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	
	規制されていない
輸送危険物分類	
	規制されていない
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

安全データシート

Reagent Control Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Lysis Buffer
製品タイプ	: Food Safety -- [Food Safety]
製品コード	: 400001270
Part Number(s)	: 400001270

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	: 化学研究及び開発、分析用薬剤
使用上の制限	: あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	: 24 hours: Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international) Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)
----------	--

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性		
爆発物		分類できない
可燃性ガス		区分に該当しない
エアゾール		分類できない
酸化性ガス		区分に該当しない
高压ガス		区分に該当しない
引火性液体		区分に該当しない
可燃性固体		区分に該当しない
自己反応性化学品		分類できない
自然発火性液体		分類できない
自然発火性固体		区分に該当しない
自己発熱性化学品		分類できない
水反応可燃性化学品		分類できない
酸化性液体		分類できない
酸化性固体		区分に該当しない
有機過酸化物		分類できない
金属腐食性化学品		分類できない
鈍性化爆発物		分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Acetic acid	< 0.1	(2)-688	既存化学物質	64-19-7

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること (第8項を参照)。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

保管

- 安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料 : データなし
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

Acetic acid (64-19-7)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	酢酸 # Acetic acid
許容濃度	25 mg/m ³ 10 ppm
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
日本 - ばく露限界値 (厚生労働大臣が定める濃度の基準)	
現地名	酢酸
短時間濃度基準値	15 ppm
規則参照	労働安全衛生規則第577条の2第2項 (令和7年10月1日適用物質)

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具 : 保護用手袋
眼の保護具 : 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
色 : 琥珀色
臭い : 不快臭
pH : 7
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : データなし
蒸気圧 : データなし
相対密度 : 1
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

Lysis Buffer	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の99.4%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.4%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Acetic acid (64-19-7)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値=3310、3530 mg/kg (PATTY (5th, 2001)) に基づき、JIS分類基準の区分外 (国連分類基準の区分5) とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギのLD50値=1060 mg/kg (PATTY (5th, 2001)) から区分4とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	ラットの LCLo=16000 ppm (PATTY (5th, 2001)) は区分4あるいは区分外に相当することから分類できないとした。なお、飽和蒸気圧濃度の90% (20394.7ppmV * 0.90 = 18355ppmV) より低いので、分類にはガスの基準値を適用した。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口 ラット	3310 mg/kg Source: ECHA Registered substances
LD50 経口	3310 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	1060 mg/kg Source: HSDB, NITE
LD50 経皮	1060 mg/kg
LC50 吸入 - ラット [ppm]	16000 ppm Source: ChemIDPlus

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Lysis Buffer	
pH	7
Acetic acid (64-19-7)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギあるいはモルモットを用いた試験（PATTY（5th, 2001）、ACGIH（2004））において、刺激性の程度はばく露の濃度と時間に依存し、特に50～80%以上の濃度では重度の熱傷と痂皮形成が観察されている。かつ、EU分類ではC;R35であることから、区分1とした。なお、pHは1.0M=2.4（Merck（14th, 2006））、である。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Lysis Buffer	
pH	7
Acetic acid (64-19-7)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギ眼に氷酢酸を適用直後に破壊的損傷を生じた（ACGIH（2004））こと、別の試験で10%以上の濃度で永続的角膜損傷を伴う重度の刺激性を示した（IUCLID（2000））こと、ヒトで誤って眼に入れてしまった後直ちに洗浄したにも拘らず角膜混濁や虹彩炎を起こし、上皮の再生に何ヶ月も要し特に角膜混濁は永続的であったとの症例報告（PATTY（5th, 2001））もあり、区分1とした。

呼吸器感作性 : 分類できない

Acetic acid (64-19-7)	
呼吸器感作性	酢酸による惹起に陽性反応を示した気管支喘息の患者や、アルコールまたは酢酸にばく露されI型過敏性反応類似の反応を呈したヒトが報告されている（PATTY（5th, 2001））。またエタノールにアナフィラキシー反応と酢酸に即時型アレルギーを示したとの報告もある（HSDB（2005））。しかし、以上の報告は極めて稀な症例であり、またその他にヒトに対しての報告や動物による試験報告などはなくデータ不足のため分類できない。なお、当該物質と喘息発作の関連性は否定できないため、取り扱いには十分な注意を要する。

皮膚感作性 : 分類できない

Acetic acid (64-19-7)	
皮膚感作性	データなし。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Acetic acid (64-19-7)	
生殖細胞変異原性	in vivoの試験結果がないので分類できないとした。in vitro 変異原性試験ではエームス試験およびCHO細胞を用いた染色体異常試験でいずれも陰性の結果（PATTY（5th, 2001））が報告されている。

発がん性 : 分類できない

Acetic acid (64-19-7)	
発がん性	酢酸・無水酢酸生産工場の大規模な疫学調査（PATTY（5th, 2001））が実施され、労働者1359人のコホートで癌による死亡を評価の結果、前立腺がんでの増加（6例）を除き全ての癌による死亡が減少した。前立腺がんによる死亡の解釈は困難と結論されている（PATTY（5th, 2001））が、いずれにしてもデータ不足のため分類できない。

生殖毒性 : 分類できない

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Acetic acid (64-19-7)	
生殖毒性	ラットを用い出産から18日齢までばく露した試験 (PATTY (5th, 2001)) およびマウスの器官形成期に経口投与した試験 (HSDB (2005)) 授乳影響あるいは仔の発生に対する悪影響の記載はない。しかし、交配前からのばく露による親動物の性機能および生殖能に及ぼす影響に関してはデータがないので分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

Acetic acid (64-19-7)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトで氷酢酸または大量の酢酸を摂取後、播種性血管内凝固障害、重度の溶血、虚血性腎不全を起こした症例報告が複数あり (PATTY (5th, 2001)、ACGIH (2004))、区分1 (血液) とした。また、ヒトで吸入暴露による鼻、上気道、肺に対する刺激性の記載 (PATTY (5th, 2001))、「ヒトが蒸気を吸入すると気道腐食性、肺水腫が見られることがある」との記述 (ICSC (J) (1997)) があり、実際に石油化学工場での事故によるばく露で気道閉塞と間質性肺炎を発症した報告 (ACGIH (2004)) があるので区分1 (呼吸器系) とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

Acetic acid (64-19-7)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットに3%の被験物質を6ヶ月間胃内投与した試験で食道粘膜の慢性炎症がみられ (PATTY (5th, 2001))、また、職業ばく露により、労働者が胸焼けや便秘などの消化器症状の訴え (PATTY (5th, 2001))、また、女性労働者117人の横断研究においてばく露を受けた労働者が対照に比べ慢性咳嗽、胸部ひっ迫、鼻カタル、副鼻腔炎の有病率が有意に高かったとの報告 (ACGIH (2004)) もあるが、いずれもデータ不足で分類できない。
NOAEL (経口、ラット、90日)	290 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: male

誤えん有害性 : 分類できない

Acetic acid (64-19-7)	
誤えん有害性	データなし。
動粘性率	No data available in the literature

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

Acetic acid (64-19-7)	
水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (オオミジンコ) での48時間EC50 = 65000µg/L (AQUIRE, 2010) であることから、区分3とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急速分解性があり (BODによる分解度 : 74% (既存点検, 1993))、かつ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow=-0.17 (PHYSPROP Database, 2009)) ことから、区分外とした。

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Acetic acid (64-19-7)	
LC50 - 魚 [1]	> 1000 mg/l
LC50 - 魚 [2]	> 300.82 mg/l Test organisms (species): Oncorhynchus mykiss (previous name: Salmo gairdneri)
EC50 - 甲殻類 [1]	65 mg/l
EC50 - 甲殻類 [2]	> 300.82 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
EC50 72h - 藻類 [1]	4.51 mg/l Source: ECHA
EC50 72h - 藻類 [2]	> 300.82 mg/l Test organisms (species): Skeletonema costatum
ErC50 藻類	> 1000 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	≤ -0.503

残留性・分解性

Lysis Buffer	
残留性・分解性	急速分解性でない

Acetic acid (64-19-7)	
残留性・分解性	Biodegradable in the soil, Does not contain any not readily biodegradable component(s).

生体蓄積性

Lysis Buffer	
生体蓄積性	データなし

Acetic acid (64-19-7)	
生体蓄積性	Does not contain bioaccumulative component(s).
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	≤ -0.503

土壌中の移動性

Lysis Buffer	
土壌中の移動性	データなし

Acetic acid (64-19-7)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	≤ -0.503
生態系 - 土壌	Contains component(s) with potential for mobility in the soil. May be harmful to plant growth, blooming and fruit formation.

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 腐食性液体（労働安全衛生規則第326条） 濃度基準値設定物質（安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号）
水質汚濁防止法	: 有害物質（法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条）
海洋汚染防止法	: 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）

安全データシート

Lysis Buffer

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

下水道法 : 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）
農薬取締法 : 特定農薬（法第3条第1項、平成15年3月4日告示第1号）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : L.mono Reagent Pack
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : 400001341
Part Number(s) : 400001341

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤
使用上の制限 : あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分3
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分3
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性 (GHS JP) : 長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 環境への放出を避けること。 (P273)

廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Magnesium sulfate anhydrous	< 0.1	(1)-467	既存化学物質	7487-88-9
1,4-dithiothreitol	≥ 0.5 - < 1	-	-	3483-12-3
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA)	< 0.1	(2)-1263	既存化学物質	60-00-4

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること (第8項を参照)。

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 通常の条件下では特に無し。
本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 通常の条件下では特に無し。
粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の条件下では特に無し。
本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
- 爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
- 浄化方法 : 製品は機械的に回収する。

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
接触回避 : データなし
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料 : データなし
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具 : 保護用手袋
眼の保護具 : 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体
外観 : White solid
色 : 白色
臭い : 無臭
pH : データなし
融点 : 214 – 216 °C
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : データなし
蒸気圧 : データなし
相対密度 : データなし
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

爆発限界 (Vol-%) : データなし
動粘性率 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性 : 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません (第7項参照)。
混触危険物質 : データなし
危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 分類できない
急性毒性 (経皮) : 分類できない
急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
分類できない (粉じん、ミスト)

L.mono Reagent Pack	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の96.42%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の96.42%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Magnesium sulfate anhydrous (7487-88-9)	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW (OECD 425: Acute Oral Toxicity: Up-and-Down Procedure, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 14 day(s))
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg (OECD 402: Acute Dermal Toxicity, 24 h, Rat, Male / female, Read-across, Dermal, 14 day(s))
1,4-dithiothreitol (3483-12-3)	
LD50 経口 ラット	400 mg/kg (Rat, Oral)
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値は >2000 mg/kg (EU-RAR 49 (2004))、2580、4500 mg/kg (以上、NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 (2007)) に基づき、JIS分類基準の区分外 (国連分類基準の区分5) とした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足で分類できない。なお、20及び80°Cにおける微粉末飽和状態で8時間吸入で死亡例なし (NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 (2007)) との報告がある。
LD50 経口 ラット	4500 mg/kg BW (Equivalent or similar to OECD 401, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 14 day(s))

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

LD50 経口 2580 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

皮膚腐食性／刺激性
ウサギのドレイズ試験で刺激性なしとの報告（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））、および別の試験ではウサギ1匹を用い、耳介に20時間適用し24時間後の観察で軽度の刺激性（mild irritating）との報告（EU-RAR 49（2004））に基づき、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性
ウサギの眼に50 mgを適用した試験で、強い刺激、軽度の浮腫、強い角膜混濁が見られたが、8日後に症状は消失したとの記述（EU-RAR 49（2004））に基づき、区分2Bとした。

呼吸器感作性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

呼吸器感作性 データなし。

皮膚感作性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

皮膚感作性
データなし。なお、本物質の二ナトリウム塩について、モルモットのマキシマイゼーション試験（OECD TG406）において、24時間後の一回目の惹起で30%（3/10）、7日後の二回目の惹起で10%（1/10）の陽性率を示し（EU-RAR 49（2004））、別のモルモットのマキシマイゼーション試験では感作性なしと報告されている（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

生殖細胞変異原性
本物質の二ナトリウム塩を用いたin vivo 試験として、マウス飲水投与による優性致死試験（生殖細胞 in vivo 経世代変異原性試験）、マウス腹腔内投与による精原細胞を用いた染色体異常試験（生殖細胞 in vivo 変異原性試験）、マウス経口投与および腹腔内投与による骨髄を用いた小核試験（体細胞 in vivo 変異原性試験）で、いずれも陰性結果が得られている（全て、EU-RAR 49（2004））ことに基づき区分外とした。また、in vitro 試験では、本物質を用いたエームス試験で陰性、マウスリンフォーマ試験で陽性、本物質の三ナトリウム塩を用いたエームス試験とマウスリンフォーマ試験で陰性の結果がある（EU-RAR 49（2004）、安衛法 変異原性データ集 補遺2版（2000））。なお、本物質によるマウスの骨髄細胞および脾臓細胞を用いた染色体異常試験（体細胞in vivo 変異原性試験）で陽性（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））の報告があるが、この試験については投与経路や用量等の試験の詳細が不明または結果の再現性に疑問があるとの専門家の判断により分類の根拠としなかった。

発がん性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

発がん性
データなし。なお、本物質の三ナトリウム塩を用いたラット及びマウスによる103週間混餌投与試験でラット、マウスのいずれも投与と関連する腫瘍の発生はなかったが、最大耐量までの用量の試験ではなかったとの記述（EU-RAR 49（2004））がある。

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

生殖毒性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

生殖毒性	ラットの妊娠7-14日に強制経口投与により親動物で死亡、下痢、行動抑制等の影響がみられた用量で、仔に対しては影響なかった（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））との報告の一方、親動物の一般毒性について記載はないが、ラットの妊娠6日以降に混餌投与した試験で、仔に口蓋裂、脳と眼の欠損、および骨格異常が生じた（Teratogenic（12th, 2007））と報告され、さらに妊娠ラットに腹腔内または筋肉内投与した場合にも仔に奇形の発生が報告されている（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007）、JECFA 796（1993））ことから、区分2とした。
------	--

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。なお、関連物質のヒトへの影響として、鉛中毒解毒剤としてEDTA二ナトリウム塩（Na ₂ EDTA）を静脈内投与した場合の急性的症状としては手と口の周辺に現れる、しびれとヒリヒリ感が報告されている（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））。
-----------------	---

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトに対する影響として、EDTA及びその塩（ナトリウム、カルシウム二ナトリウム）を長期にわたり多量経口摂取した場合、腎臓尿細管障害がみられるとの記述（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））から、区分1（腎臓）とした。なお、関連物質のCaNa ₂ EDTA製剤は鉛中毒の解毒剤として市販され、副作用情報において錠剤では長期投与により尿細管障害、点滴注射剤では一過性蛋白尿、長期投与により尿細管障害の記載があり、その他の注意事項として、急速、大量投与の結果、腎毒性により死亡等の重大な結果を招くことがあるとされている（環境省リスク評価 第3巻（2004））。
LOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90日)	0.015 mg/l air Animal: rat, Animal sex: female, Guideline: OECD Guideline 413 (Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day Study)
NOAEL (経口、ラット、90日)	≥ 500 mg/kg BW Animal: rat
NOAEL (亜慢性、経口、動物/オス、90日)	≥ 500 mg/kg BW Animal: , Animal sex: male

誤えん有害性 : 分類できない

Magnesium sulfate anhydrous (7487-88-9)

動粘性率	Not applicable (solid)
------	------------------------

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

誤えん有害性	データなし。
--------	--------

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 水生生物に有害、長期継続的影響によって水生生物に有害。
水生環境有害性 短期（急性）	: 水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性）	: 長期継続的影響によって水生生物に有害

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Magnesium sulfate anhydrous (7487-88-9)	
LC50 - 魚 [1]	680 mg/l (EPA 600/4-90/027, 96 h, Pimephales promelas, Static system, Fresh water, Read-across, Lethal)
LC50 - 魚 [2]	15500 mg/l (96 h, Gambusia affinis, Static system)
EC50 - 甲殻類 [1]	1700 mg/l (24 h, Daphnia magna)
EC50 72h - 藻類 [1]	0.00411 mg/l
1,4-dithiothreitol (3483-12-3)	
EC50 - 甲殻類 [1]	34.8 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
EC50 72h - 藻類 [1]	24.3 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
EC50 72h - 藻類 [2]	8.66 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (ブルーギル) の96時間LC50 = 41 mg/L (EU-RAR, 2005他) から、区分3とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がないが (4週間でのBODによる分解度 : 0% (既存点検, 1994))、甲殻類 (オオミジンコ) の21日間NOEC = 5.5 mg/L (環境省生態影響試験, 2002他) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく (4週間でのBODによる分解度 : 0% (既存点検, 1994))、魚類 (ブルーギル) の96時間LC50 = 41 mg/L (EU-RAR, 2005他) であることから、区分3となる。以上の結果を比較し、区分3とした。
LC50 - 魚 [1]	159 mg/l (US EPA, 96 h, Lepomis macrochirus, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
EC50 - 甲殻類 [1]	140 mg/l (DIN 38412-11, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Read-across, Locomotor effect)
EC50 72h - 藻類 [1]	> 60 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
ErC50 藻類	> 100 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Weight of evidence, GLP)
LOEC (慢性)	50 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
NOEC 魚 慢性	≥ 25.7 mg/l Test organisms (species): Duration: '35 d'
NOEC 甲殻類 慢性	5.5 mg/l
BCF - 魚 [1]	1.1 – 1.8 (28 day(s), Lepomis macrochirus, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Fresh weight)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.13 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.495 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

残留性・分解性

L.mono Reagent Pack	
残留性・分解性	急速分解性でない

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Magnesium sulfate anhydrous (7487-88-9)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable。
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)
1,4-dithiothreitol (3483-12-3)	
残留性・分解性	Biodegradability in water: no data available。
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water。
生化学的酸素要求量(BOD)	0.01 g O ₂ /g substance
化学的酸素要求量(COD)	0.85 g O ₂ /g substance
ThOD	1.09 g O ₂ /g substance
BOD (ThODの割合)	0.0091

生体蓄積性

L.mono Reagent Pack	
生体蓄積性	データなし
Magnesium sulfate anhydrous (7487-88-9)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
1,4-dithiothreitol (3483-12-3)	
生体蓄積性	No bioaccumulation data available。
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (BCF < 500)。
BCF - 魚 [1]	1.1 – 1.8 (28 day(s), Lepomis macrochirus, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Fresh weight)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.13 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.495 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

土壌中の移動性

L.mono Reagent Pack	
土壌中の移動性	データなし
Magnesium sulfate anhydrous (7487-88-9)	
表面張力	No data available in the literature
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available。
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.13 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.495 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil。

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

残余廃棄物 : 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。
廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質 (法第2条第5項)

大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (中央環境審議会第9次答申)

安全データシート

L.mono Reagent Pack

JIS Z 7253 : 2019に準拠

海洋汚染防止法	: 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Z類同等の物質）（環境省告示第148号第3号）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。